

## 一 諸河無鹹の事

仰せに云はく、此の無鹹むかんの事をば諸教無得道に譬へたり。大海のし鹹をは映やきをば、法華經の成仏得道に譬へたり。又諸經に一念三千の法門無きは、諸河潮にうしほあじの味はひ無きが如く死人の如し。法華經に一念三千の法門有るは、うしほ潮の大海に有るが如くきたる人の如し。法華經を浅く信ずるは、あ泡は潮のうしほの如し。深く信ずるは海の水の如し。あ泡は消えやすし、海の水は消えざるなり。如説修行最も以て大切なり。然りと雖も諸經の大河こくじんの極深なるも、大海泡のあはの、しほの味をば具足せず。権教の仏は法華經の理即の凡夫には百千万倍劣るなり云云。